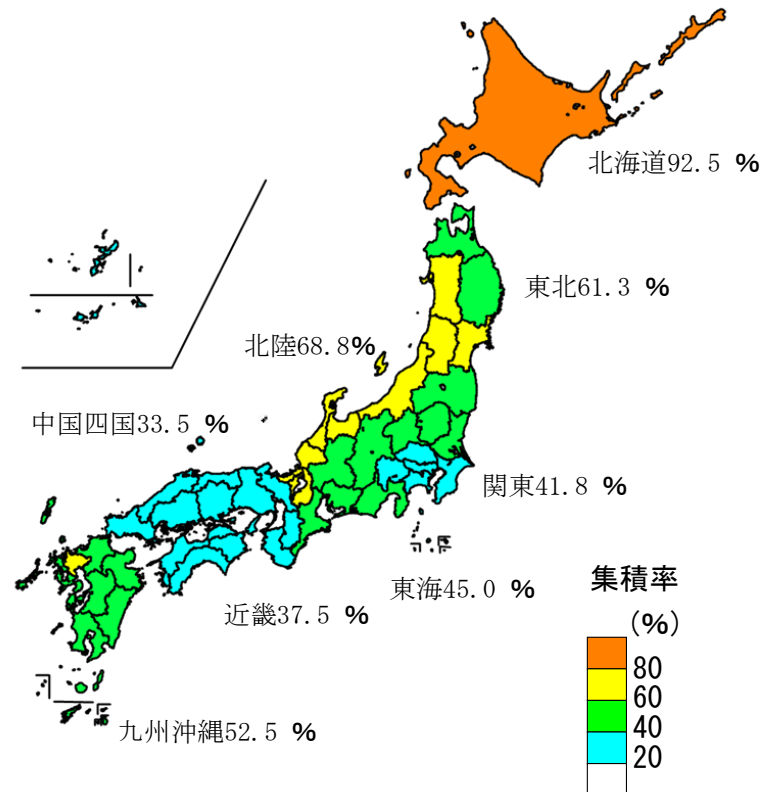


中山間地域と平地の担い手への農地集積の状況（令和7年3月末）

- 担い手への農地集積率は、**平地が最も進展**。都府県においては、**中山間地域ほど集積率が低い**
- 基盤整備完了地区は担い手への集積が高くなる傾向

【ブロック別】

全国 61.5%



【農業地域類型別】

<全国>

(単位: %)

	都市的地域	平地農業地域	中間農業地域	山間農業地域	全国
水田型	53.6	74.7	56.0	48.3	59.7
田畑型	42.4	51.8	52.1	47.1	48.6
畑地型	49.1	87.6	76.1	74.1	76.8
全国	49.4	76.5	59.8	57.5	61.5

<都府県>

	都市的地域	平地農業地域	中間農業地域	山間農業地域	都府県
水田型	52.5	69.4	54.1	46.3	56.5
田畑型	40.4	47.6	44.7	32.2	42.9
畑地型	35.2	50.6	40.3	38.9	41.0
都府県	46.6	61.2	49.1	41.2	50.2

※ 水田型: 水田率70%以上、田畑型: 水田率30%~70%、畑地型: 水田率30%未満

※ 農業地域類型は、令和5年時点の市区町村及び昭和25年時点の旧市区町村について分類されており、上記集計では令和5年時点の市区町村の分類をベースとしている。このため、市町村合併等により域内に多様な地形・地目が存在したとしても、いずれか1区分に属することとなることに留意が必要である。

【基盤整備完了地区】

担い手への農地集積率	基盤整備完了地区における担い手への農地集積率※
61.5%	87%

※ 令和5年度に国営農地再編整備事業、国営緊急農地再編整備事業、農業競争力強化基盤整備事業、農地耕作条件改善事業、農山漁村地域整備交付金による基盤整備が完了した地区における実績